

2022年度(第24期)「セキショウふれあい基金」寄付実施報告

首題の件、下記のとおり4市連携ウクライナ避難民支援ネットワーク会議様へ200万円の寄付金を贈呈致しました事をご報告申し上げます。多くの皆様のご協力、誠にありがとうございました。

今後も社会貢献実施企業の一員である事を改めて認識し、地域社会に貢献してまいります。

記

1. セキショウふれあい基金とは

今年で24年目になる当基金は、平成11年に「地域社会に根ざし、地域の皆様と共に生きる企業」として、社員・会社が身近な社会福祉(貢献)活動を支援するため、『セキショウふれあい基金』を設立しました。この基金は、社員の募金と会社の募金(社員の募金総額と同額)を合わせた活動資金をもとに、毎年、支援対象団体等を決定し、寄付を行っているものです。また、令和元年より更なる地域貢献活動の充実を図るため、社員・法人に限らず、地域の皆様からの募金の受付を開始いたしました。

2. 寄贈先

寄贈先	寄贈日	寄贈額
4市連携ウクライナ避難民支援ネットワーク会議	5/13	200万円

セキショウグループではSDGs達成に向け、セキショウふれあい基金を実施しております。

当基金を通じて「1.貧困をなくそう」「3.すべての人に健康と福祉を」「4.質の高い教育をみんなに」

「8.働きがいも経済成長も」のSDGsに貢献してまいります。

3. 贈呈式の様子



写真(左より)

つくばみらい市 小田川 浩市長 様
関彰商事(株) 取締役常務執行役員 葉 章二
守谷市 松丸 修久市長 様
常総市 神達 岳志市長 様
坂東市 木村 敏文市長 様

[常総市 神達市長]

この度は4市連携のウクライナ避難民支援に対してセキショウグループの皆様からありがたいご寄付を頂きました事、改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

常総市にはもとより、女性1名が生活をされておりましたが、その方のご家族2名が市内にお越しにいただいております。こういった状況で行政だけでなく市民の皆さんからも「何か出来る事はないか。」というお声も市役所に届いております。ありがたい事に、関彰商事様から200万円という大きなご寄付を頂いたことは励みになります。これから長期化するであろう、これから増えるであろう避難民の皆様を、兄弟や家族のようにこの4市で受け入れて、大切な人生の一助になれるよう支援を継続していきたいと思っております。本当にありがとうございます。

[坂東市 木村市長]

先ほど葉取締役から大変貴重な、関彰商事様と社員の皆様からの温かい志を頂戴して、本当に感謝に堪えないところでございます。葉取締役からのお話にもありましたが関彰商事様の企業理念として地域貢献、社会貢献をという延長線のうえで今回のご寄付なのだろうと思うところです。

我々4市もそれぞれに至らない部分を補いあって、何かしらの支援をという事で4市連携という話し合いをしました。こうした思いに対して関彰商事様のご支援は何物にも代えがたいありがたいものだと思っております。

[つくばみらい市 小田川市長]

本日はセキショウグループ社員様の志を、ご寄付という形で頂戴致しまして誠に感謝しております。ありがとうございます。4市連携という事でウクライナ支援をさせていただいておりますが、つくばみらい市でも1名の方がウクライナより避難をされております。このような中、関彰商事の皆様から今回のご寄付を頂いたという事は何よりも励みになると思っております。ウクライナ大使とお会いした時に大使からは、「多くの支援をお願いしたい」という言葉を頂いております。やはり助かるものはこういったご寄付であろうと思っております。これから4市連携して大切にに使わせていただきたいと思いますと思っております。今後ともよろしくお願い致します。本日は誠にありがとうございました。

[守谷市 松丸市長]

本日は本当にありがとうございました。今回のウクライナ避難民支援について、いち早く声を挙げたのが常総市の神達市長でありました。皆で何か出来ないか？という中、やはり広範囲で支える仕組みが出来たら良い。という事で今回のプロジェクトを立ち上げました。そこに関彰商事様からの寄付を頂けたということは、我々4市は心強く感じるとともに、強く責任を感じております。国を追われ戦禍を体験して心に傷を負ったまま来られた方を、色々な形でサポートして「日本に来て良かった。」と思ってもらえるような支援が出来たらと思っております。今後とも関彰商事様にはまた違った面でのお願いごとがあるかもしれませんが、今後とも宜しくお祈りを申し上げます。本当にありがとうございました。

以上